



馬町空襲爆弾の破片

1945年(昭和20年)1月16日午後11時20分頃
「東山馬町」一帯はアメリカ軍爆撃機B29の空襲を受け、
死者41人、負傷者48人、家屋の全半壊142戸に及び、
被災者総数729人に達した。



東大路渋谷下る妙法院前側町(現在のホテル東山閣北付近)に落とされた爆弾の一部で、爆心地から北へ約100m離れた同町421番地付近に飛来した破片である。拾得者石田富久子の話によると、爆弾は爆発後も殺傷能力を高めるため無数に割れて、このような鋭利な鉄の凶器となり相当数の破片が自家の庭に飛んできたとの事である。

寄贈者
東山区東大路渋谷下る妙法院前側町421
石田泰和

提供：修道自治連合会

